

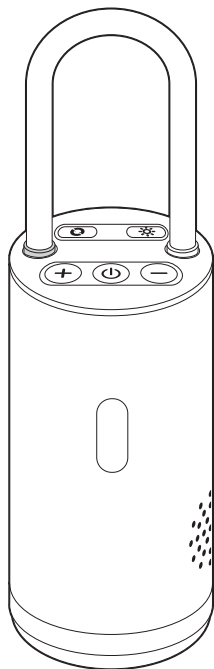
電動エアポンプ

RLC-AP001 取扱説明書

このたびは、RELICIA電動エアポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、使用方法をご理解した上でご使用ください。また、「安全上のご注意」の内容を必ずお守りください。

目 次

安全上のご注意	2
同梱品の確認／各部名称	5
充電方法	7
使用方法	8
電源をONにする	8
電源をOFFにする	8
自転車(英式バルブの場合)	9
自転車(仏式バルブの場合)	10
バイク／自動車の場合	11
ボール／浮き輪等の場合	12
空気圧の設定範囲について	13
適正空気圧について	14
空気入れ中のご注意	15
ライトについて	15
お手入れ／保管について	16
こんなときは	17
製品仕様	18
アフターサービス	19
製品保証書	20



※イラストはイメージです。
実際の外観と異なる場合があります。

※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

1. 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示と絵表示の意味



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

【電源に関するご注意】



充電器が故障・破損していたり、充電ケーブルの被膜がやぶれている、断線の疑いがある場合、また本製品が故障・破損している場合は充電を行わないでください。感電・爆発・発火などの原因となります。



水に濡れる可能性のある場所や、高温になる場所、屋外など埃の多い場所で充電・使用・保管しないでください。故障や感電の原因となります。



本製品の充電には、規格に適合した充電器・充電ケーブルをご使用ください。故障や感電・爆発・発火などの原因となります。



充電完了後はすみやかに充電ケーブルを外してください。長時間充電を続けると充電電池の劣化や、故障・発熱・発火などの原因となります。

【使用時のご注意】



本製品はタイヤ、ボール、浮き輪等の空気入れ専用器具です。目的外に使用しないでください。物品の破損、傷害や死亡事故の原因となります。



人体や動物に対して絶対に使用しないでください。傷害や死亡事故の原因となります。



劣化・破損・変形したタイヤやボール、浮き輪等には使用しないでください。破裂の危険があります。



引火性のガスや液体のそばで本体を作動させないでください。火花が発生する可能性があり、火災や爆発等の原因となります。



本製品をお子様に使用させないでください。また、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。思わぬ事故の原因となります。



タイヤへの空気入れの際には、適正空気圧をお守りください。破裂やタイヤ部品の劣化の原因となります。

※適正空気圧は自転車タイヤ側面等に記載されています。

※英式バルブの場合、構造上空気圧を正確に測定できません。タイヤの固さを指で押すなどして確認しながら、空気入れを行ってください。

【保管時・廃棄時のご注意】



本製品を火中に投棄しないでください。また、高温になる場所に放置しないでください。爆発の危険があります。



ピンや針金など、金属や異物を本製品に刺したり入れないでください。感電や爆発、故障の危険があります。



本製品を分解・改造しないでください。故障の際はご自分で修理をせずに、販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。



異臭や異常な発熱、発煙・発火などがあった場合はただちに使用を中止してください。感電や爆発、故障の危険があります。

警告



本体や付属品に油や溶剤が付着しないよう、ご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。本体の故障や、ゴム・プラスチック部品の劣化の原因となります。



エアホースを鋭角に折り曲げないでください。劣化の原因となります。



本製品の作動中はそばを離れず、空気圧を確認しながら空気入れを行ってください。思わぬ事故の原因となります。



本体や付属品に破損や変形がある場合は使用を中止し、販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。



本製品に付属するアタッチメント以外の部品を使用する場合、弊社では正常な動作に関して保証できません。お客様の責任においてご使用ください。また、アタッチメント類が正常に嵌合できない場合、使用中に外れ、ケガや物品の破損の原因となりますので十分ご注意ください。



バッテリーは消耗品です。使用時間が明らかに短くなったり、異常な発熱、膨張するなど変化が見られた場合は以後の使用を中止してください。



直径が小さい、または特殊な形状のタイヤでは本製品を使用できない場合があります。



本製品のゴム部品やプラスチック部品は経年劣化により損耗や破損が生じます。損耗や破損した場合は使用を中止してください。



本製品は運転時、大きな動作音が伴います。室内や夜間に使用される場合は周囲の環境にご配慮ください。



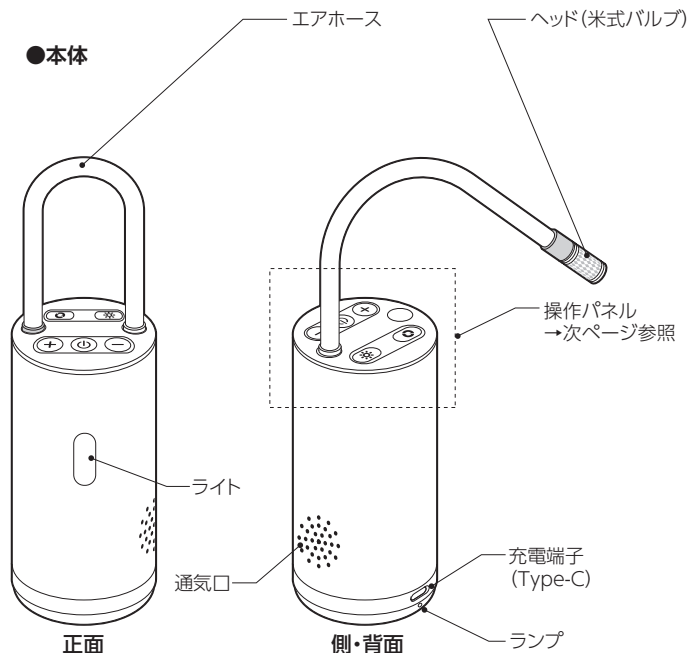
本製品はバッテリーを内蔵しています。廃棄する場合は自治体の定める方法に従い、適切に処理してください。

2. 同梱品の確認／各部名称

本製品には本体のほか、付属品が同梱されています。不足していたり、はじめから破損している場合は販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

- 本体×1 ●収納ケース×1 ●取扱説明書・製品保証書(本書)×1
- アタッチメント×4個(英式バルブ用／仏式バルブ用／ボール用／浮き輪用)
- 充電ケーブル(Type-C)×1

【各部名称】



●操作パネル

モード切替ボタン

短押しでモード切替
長押しで単位切替
(PSI ↔ BAR)

ライトボタン

15ページ参照

ヘッド収納部

電源ボタン

電源ON/OFFの
方法は
8ページ参照

空気圧調整ボタン

使用方法は
8ページ参照

※ディスプレイ詳細

アイコン

- ・自転車
- ・バイク
- ・自動車
- ・ボール

空気圧単位

(PSI / BAR
いずれか表示)

空気圧設定中は設定値を表示
その他の時は現在の空気圧測定値を表示

●アタッチメント



一般的な自転車
(シティサイクル)
・英式バルブ用



ロードバイク
スポーツバイク等・
仏式バルブ用



ボール用



浮き輪等用

3. 充電方法

はじめて使用する前や、長期間使用しなかったときは、バッテリーを満充電させてください。

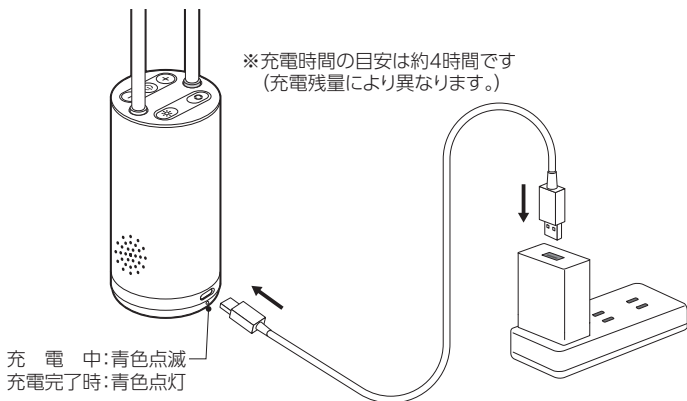
- ①ヘッドをヘッド収納部に差し込み、電源がOFFになったことを確認します。
(ヘッドをヘッド収納部に差し込むと、数秒で電源が自動でOFFになります。)
- ②本体側面下部の充電端子(Type-C端子)にUSBケーブルを差し込みます。
USBケーブルをUSB充電アダプタと接続し、コンセントに差し込みます。
- ③充電が開始されます。充電中は充電端子下部のランプが青色に点滅します。充電完了すると点滅が点灯に変わります。充電完了後はすみやかに充電ケーブルを外してください。

※USB充電アダプタ(2A以上)を別途ご用意ください。

※PD充電器には対応していません。

※充電しながらご使用はできません。

※電源ON時、充電残量が低下すると充電端子下部のランプが赤色に点灯します。充電残量がさらに低下すると点滅に変わり、運転が停止します。



4. 使用方法

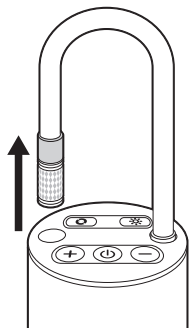
●電源をONにする

ヘッドをヘッド収納部から引き出すと電源がONになり、ディスプレイに数字、アイコンが表示されます。

ボタン操作がない状態で3分経過すると自動的に電源がOFFになります。

再度電源をONにする場合は下記いずれかの操作を行ってください。

- 一度ヘッドをヘッド収納部に奥まで差し込んでから引き出します。
- ヘッドが引き出された状態で電源ボタンを長押しします。(ヘッドがヘッド収納部に差し込まれた状態では電源をONにできません。)

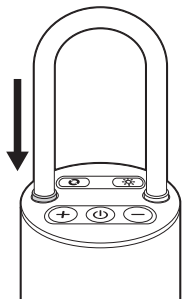


●電源をOFFにする

ヘッドをヘッド収納部差し込むと、数秒後に電源がOFFになります。(奥まで差し込んでください)

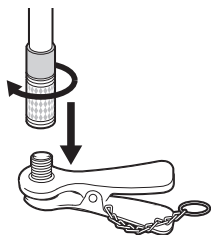
または、ボタン操作がない状態で3分経過すると自動的に電源がOFFになります。

電源ボタンを長押ししても電源をOFFにすることができます。

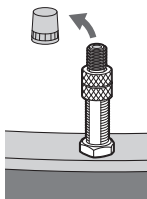


●自転車タイヤへの空気の入れ方(英式バルブの場合)

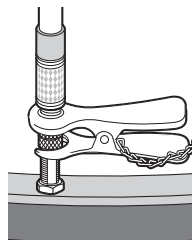
ご使用の自転車のバルブを確認し、英式バルブの場合は以下の手順で空気を入れてください。



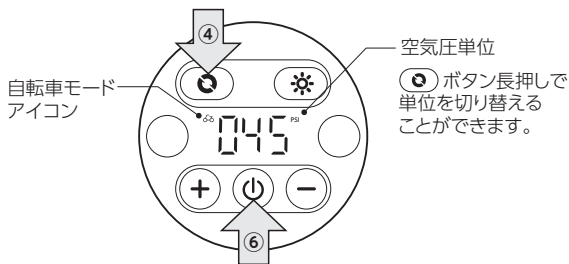
- ①ヘッドに英式バルブのアタッチメントを取り付けます。



- ②バルブのキャップを外します。



- ③バルブをアタッチメントのクリップで挟みます。

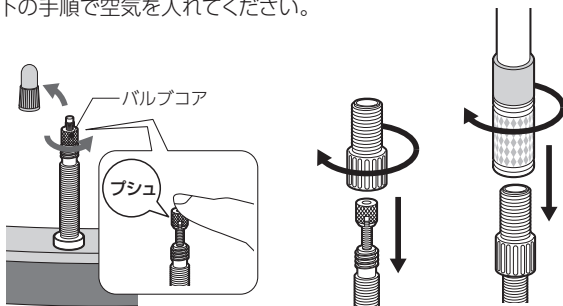


- ④ ボタンを短押しし、「自転車モード」にします。
- ⑤空気圧の設定は初期値のまま(45PSI(3.1BAR))にします。
- ⑥ ボタンを短押しし、本体を作動させます。
- ⑦指でタイヤの硬さを確認しながら空気を入れ続けます。適度な硬さになったら ボタンを短押しし、作動を停止させます。

※英式バルブは構造上、空気圧を正確に測定できません。手動で停止操作を行う必要があります。

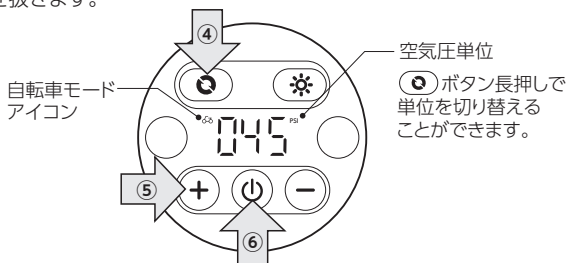
●自転車タイヤへの空気の入れ方(仏式バルブの場合)

ご使用の自転車のバルブを確認し、仏式バルブ(ロードバイク等)の場合は以下の手順で空気を入れてください。



- ①キャップを外し、バルブコアを限界まで緩めます。
バルブコアを指で軽く押し、空気を抜きます。

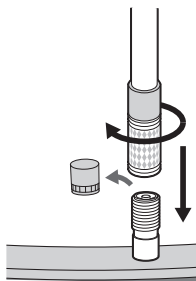
- ②仏式バルブ用アタッチメントをバルブに取り付けます。
③ヘッドをアタッチメントに取り付けます。



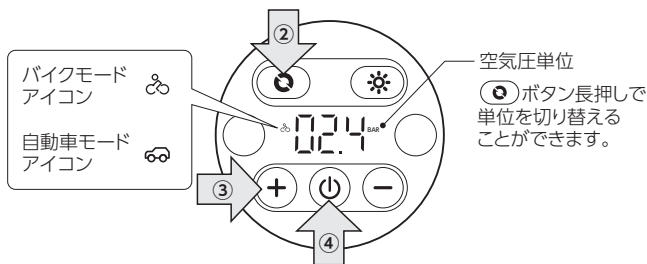
- ④ ボタンを短押しし、「自転車モード」にします。
⑤タイヤ側面に記載された適正空気圧(P14参照)を設定します。
⑥ ボタンで数値を変更できます。
⑦ ボタンを短押しし、本体を作動させます。
⑧ ディスプレイに現在の空気圧が表示され、⑤で設定した数値に到達したら自動で停止します。手動で停止させるには、 ボタンを短押しします。

●バイク・自動車タイヤへの空気の入れ方(米式バルブの場合)

米式バルブ(バイク・自動車等)の場合は以下の手順で空気を入れてください。



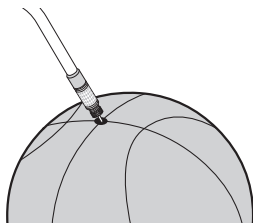
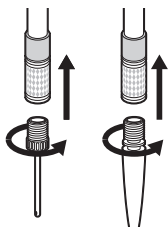
- ①キャップを外し、アタッチメントは使わずそのままヘッドをバルブに取り付けます。



- ②  ボタンを短押しし、「バイク／自動車モード」のいずれかにします。
- ③適正空気圧(P14参照)を設定します。
-  ボタンで数値を変更できます。
- ④  ボタンを短押しし、本体を作動させます。
- ⑤ディスプレイに現在の空気圧が表示され、③で設定した数値に到達したら自動で停止します。手動で停止させるには、 ボタンを短押しします。

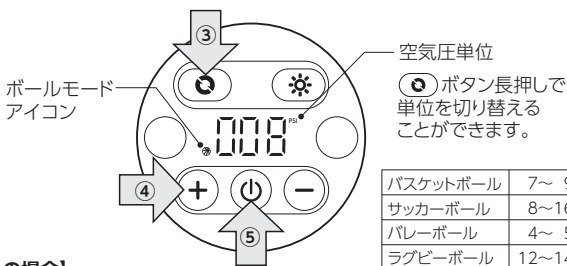
●ボール／浮き輪等への空気の入れ方

ボール／浮き輪等の場合は以下の手順で空気を入れてください。



- ①ボール用、または浮き輪等用の
アタッチメントをヘッドに取り付けます。
※一部、本製品付属のアタッチメントが
適合しないボール／浮き輪もございます。

- ②空気入れ用の穴に
差し込みます。



【ボールの場合】

- ③ ボタンを短押しし、「ボールモード」にします。
- ④ 適正空気圧を設定します。不明な場合は上表を参考にしてください。
 ボタンで数値を変更できます。
- ⑤ ボタンを短押しし、本体を起動させます。
- ⑥ ディスプレイに測定空気圧が表示され、④で設定した数値に到達したら
自動で停止します。手動で停止させるには、 ボタンを短押しします。

【浮き輪等の場合】

- ③  ボタンを短押しし、「ボールモード」にします。
 - ④ 空気圧は初期値の設定のままにします。
 - ⑤  ボタンを短押しし、本体を作動させます。
 - ⑥ 目視と指で、浮き輪等のふくらみを確認しながら空気を入れ続けます。適度なふくらみになったら  ボタンを短押し、停止させます。
- ※浮き輪等は構造上、空気圧を正確に測定できません。手動で停止操作を行う必要があります。

●空気圧の設定範囲について

各モードでの空気圧設定範囲は下記の通りです。

■自転車モード

30～65PSI(初期値45PSI)／2.0～4.4BAR(初期値3.1BAR)

■バイクモード

26～43PSI(初期値35PSI)／1.8～3.0BAR(初期値2.4BAR)

■自動車モード

26～50PSI(初期値37PSI)／1.8～3.5BAR(2.5BAR)

■ボールモード

4～16PSI(初期値8PSI)／0.2～1.1BAR(0.5BAR)

■標準モード※

3～150PSI／0.2～10.3BAR

※電源ON時、各モードのアイコンがすべて表示されていない状態が標準モードです。標準モードのみ、電源をオフにしても前回の設定値が保持されます。

※適正空気圧範囲を過度に超えて空気を入れると、タイヤの破裂、本体の故障などの原因となり大変危険です。必ず、適正空気圧の範囲で設定を行ってください。特に標準モードで使用する場合は、数値の設定に間違いがないか十分ご確認ください。

●適正空気圧について

自転車タイヤの場合→タイヤ側面

自動車タイヤの場合→運転席ドアの開口部など

に適正空気圧が書かれています。積載重量(重い場合は高め)や季節(夏場は低め)を考慮して空気圧を入力してください。

【参考】

本製品で設定できる空気圧の単位はPSIとBARの2種類です。

適正空気圧が他の単位で記載されている場合は、下記の換算式を参考にしてください。

$$43.5\text{PSI} = 3.00\text{BAR} = 300\text{kpa} = 3.05\text{kgf/cm}^2$$



必ず先に空気圧の設定をしてから空気入れを行ってください。

適正空気圧範囲を過度に超えて空気を入れると、タイヤの破裂、本体の故障、ケガなどの原因となり大変危険です。

※英式バルブの場合は自転車モードの設定初期値(45PSI／3.1BAR)にし、指でタイヤの高さを確かめながら、少しずつ空気入れを行ってください。空気を入れすぎるとタイヤの破裂、本体の故障、ケガなどの原因となり大変危険です。

●空気入れ中のご注意

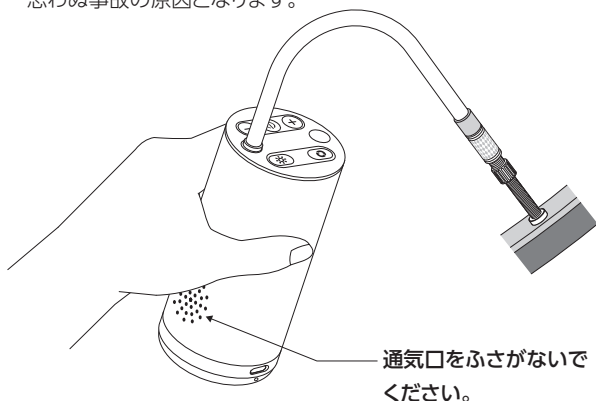
作動中は本体をしっかりと持ち、空気圧を確認しながら空気入れを行ってください。

※本体を持つ際、通気口をふさがないようにご注意ください。

※本体を連続して作動させていると、エアホースや本体が熱を持ちます。異常に熱くなった場合は作業を一時中止し、エアホースや本体が冷却してから再開してください。

※本体やバルブに顔を近づけないでください。

思わぬ事故の原因となります。



●ライトについて

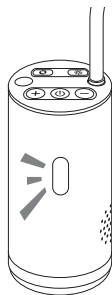
本体側面のライトは、(※) ボタンを押すと点灯／点滅します。

1回押し→白色点灯

2回押し→赤色点滅

3回押し→SOSパターンで赤色点滅

4回押し→消灯



5. お手入れ／保管について

●お手入れ

本体の汚れは乾いた布で拭き取ってください。

水洗いはできません。

洗剤／シンナー／ベンジン等は使用しないでください。

本体やエアホース、ヘッド部分に水分や油が付着しないようご注意ください。さびや腐食の原因となります。万一付着した場合は、すぐに乾いた布でよく拭き取ってください。

●保管するときは

ヘッドをヘッド収納部差し込んだ状態で、アタッチメント、取扱説明書(本書)とともに収納ケースに収納の上、保管してください。

長期間使用しない場合でも、充電池の劣化を防ぐため、1ヶ月に1回程度充電を行い、テスト動作をさせてください。

保管は、高温多湿の場所・気温が氷点下になる場所・埃の多い場所、屋外等を避け、お子さまの手の届かない場所で行ってください。

6. こんなときは

●電源が ON に ならない	充電残量が低下している場合、電源がONになりません。充電を行ってください。 ※電源ON時、充電残量が低下すると充電端子下部のランプが赤色に点灯します。充電残量がさらに低下すると点滅に変わり、運転が停止します。 ヘッドがヘッド収納部に差し込まれていると電源ボタンを押しても電源がONになりません。
●空気が十分入っていないのに停止する	作動開始から3分間で自動停止します。 3分経過しても十分に空気が入っていない場合、アタッチメントが正確に取り付けられているか確認してください。
●作動中、空気圧が あがらない	英式バルブの場合や、ボール、浮き輪等では空気圧が正確に測定できません。自動で停止しませんので、指でタイヤ等の硬さを確認しながら空気入れを行ってください。 アタッチメントが正確に取り付けられているか確認してください。
●本体やエアホースが 熱い	本体を作動させていると、エアホースや本体が熱を持ちます。 異常に熱くなった場合は使用を一時中止し、本体やエアホースが冷却されるのを待って再度作動させてください。

上記の対策で解決しない場合は販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

7. 製品仕様

製 品 名	電動エアポンプ
型 番	RLC-AP001
設定空気圧範囲	3～150PSI／0.2～10.3BAR ※各モードの設定範囲は13ページ参照
使用環境条件	充電:0℃～45℃
	使用／保管:－10℃～45℃
作 動 音	75dB未満(本体より1m地点)
バッテリー容量	2600mAh
入 力 電 流	5V／2A(USB Typa-C)
充 電 時 間	約4時間
空気圧測定精度	±1.5PSI
外 形 寸 法	Φ約70mm×約140mm(エアホース除く)
重 量	約480g

8. アフターサービス

①初期不良について

本体・付属品がはじめてから破損している場合は、購入日とお買い上げの販売店を証明できる書類をご用意のうえ、14日以内に販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。14日を過ぎての交換依頼には応じられませんのでご了承ください。

一度ご使用になった製品は、原則として返品をお受けすることができません。ただし、あきらかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換いたします。その他の責は一切、お受けすることができませんのであらかじめご了承ください。

②修理を依頼されるとき

※保証期間中は製品に製品保証書を添えてお買い上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。



株式会社TOHOホームページ
<https://toho-corporation.com/>

製品保証書

製品名

電動エアポンプ RLC-AP001(BK)／RLC-AP001(SV)

保証期間(お買い上げ日より) **本体 6カ月間**

〈保証規定〉

このたびは、電動エアポンプをお買い上げ頂きありがとうございます。当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の權益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

- ①ご購入日から 6 カ月以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と製品保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店またはサポートセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理、または新品と交換いたします。
- ②本体以外の付属品については、初期不良時の交換のみ無償対応いたします。(購入日より 14 日以内)
- ③本製品をネットオークション、ネットフリーマーケットまたはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。
- ④本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理や初期不良交換の依頼は購入者本人(購入したことを証明し得る者)が行う必要があります。
- ⑤保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。

※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。

※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。

※本書の提示がない場合。

※お買い上げ年月日、販売店を証明できる書類のない場合。

- ⑥本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●お買い上げ年月日、販売店を証明できる書類を必ずご提示ください。

●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

販売元 **株式会社TOHO**



サポートセンター電話番号

03-6803-0191

受付時間／月～金10:00～12:00 13:00～17:00

土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く